

平成23年8月29日
第七管区海上保安本部

問い合わせ先
海洋情報部海洋調査課長 河合 晃司
電話 093-321-2931 (内線) 2530



山口県北西部の詳細な海底地形が明らかに

山口県下関市角島北西沖約8 kmにある汐巻付近及び長門市川尻岬付近の海域において実施した海底地形調査により、詳細な海底地形が明らかになりました。

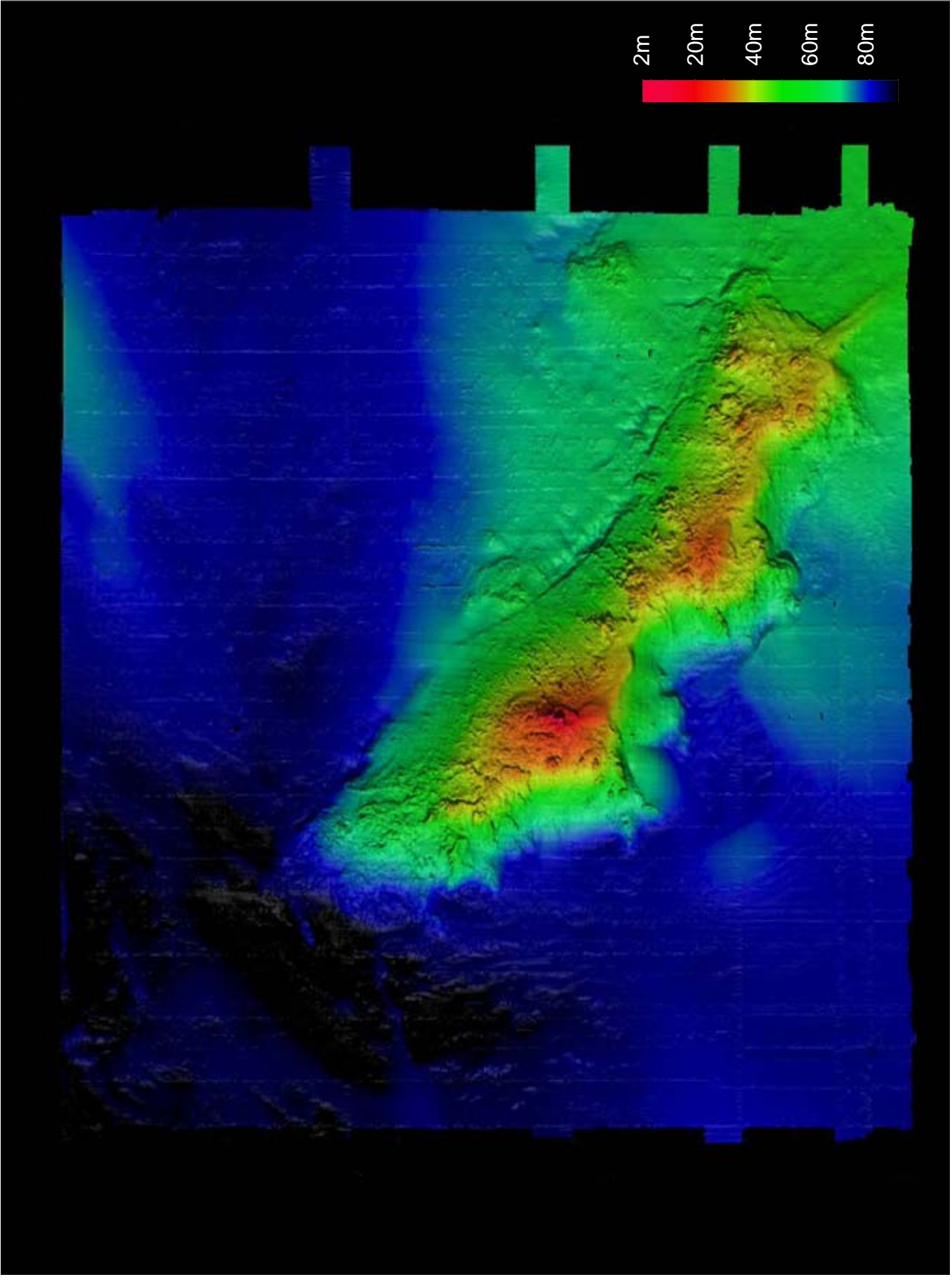
第七管区海上保安本部では、航海用海図の最新維持と我が国の管轄海域の基盤的な情報を整備することを目的として、詳細な海底地形調査を実施しています。

平成23年4月から7月にかけて、山口県下関市角島北西沖約8 kmに位置し常に波立つ航海の難所でありかつ好漁場でもある汐巻付近及び長門市川尻岬岬付近において、第七管区海上保安本部所属測量船「はやしお」により、マルチビーム音響測深機を用いた海底地形調査を実施しました。

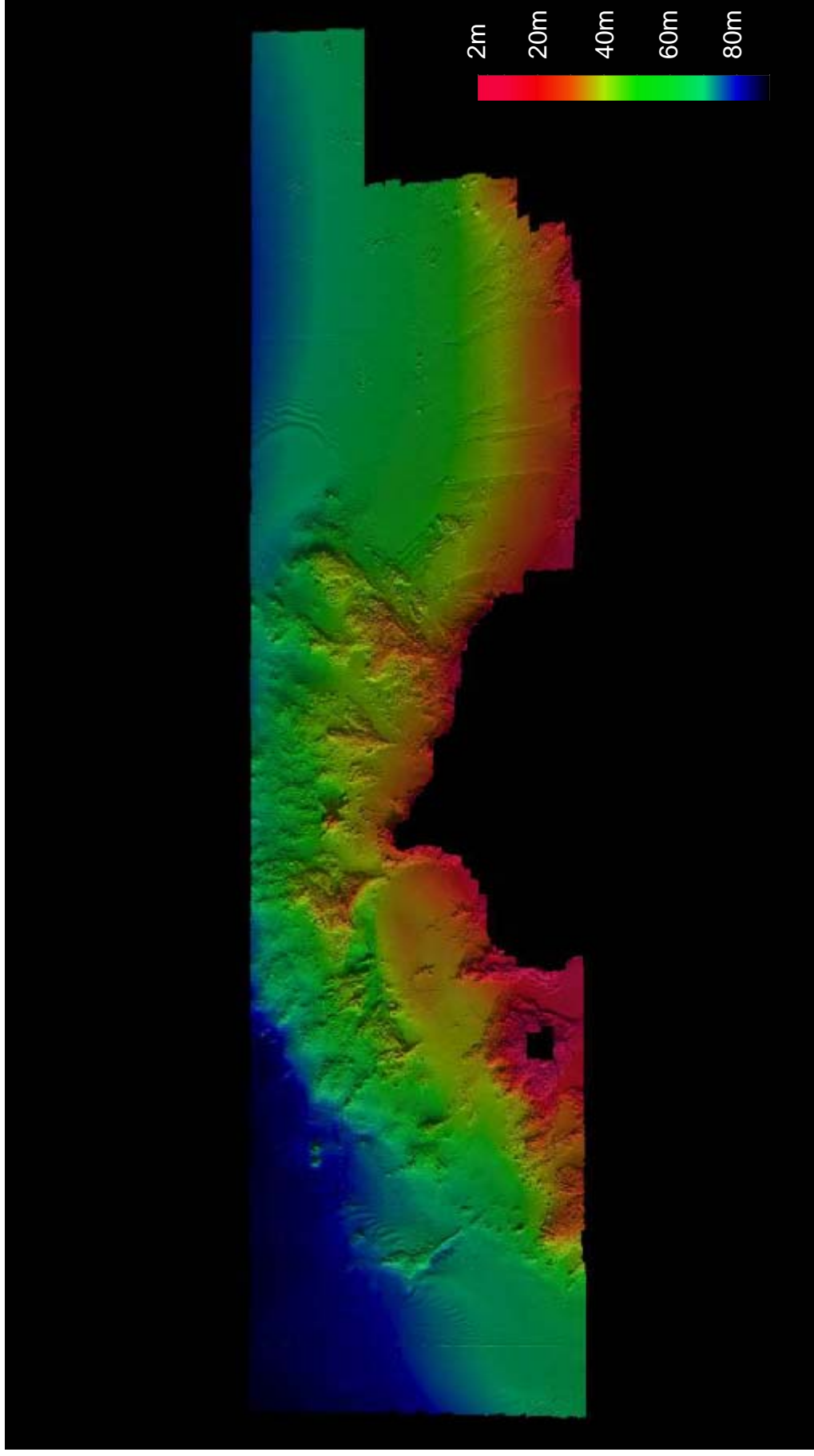
今回の調査では、汐巻は浅瀬が概ね3つのピークから成り立っていること、汐巻の北東側に非常に明瞭な崖地形が存在すること、汐巻の南東に岩脈と思われる地形が見られることなど、今まで知られていなかった汐巻の詳細な海底地形を初めて明らかにすることができました。また、川尻岬付近についても、その複雑な岩礁の状況や発達しているサンドウエーブの様子を初めて明らかにすることができました。

今回得られた資料は、さらに詳細な資料整理を行った後、海図の最新維持に利用し航海の安全を図るとともに、海洋の研究・開発のための基礎資料として利用されます。

今回の調査で得られた汐巻の海底地形図



今回の調査で得られた川尻沖の海底地形図



調査海域図

